

第2回 質量分析トレーニングコース

横浜市立大学、国立がん研究センター、北里大学は、文部科学省の先端研究基盤共用促進事業「共用プラットフォーム形成支援プログラム」において、研究者がタンパク質の質量分析を行うことができる臨床質量分析共用プラットフォーム(MS共用PF)を構築し、わが国のプロテオーム研究の推進に役立てたいと考えています。この度、共用プラットフォームの活動の一環として、最新のタンパク質質量分析法に関する実習会を開催いたします。タンパク質の質量分析に関心をお持ちの皆様のご参加をお願いいたします。

MS共用PF担当 平野 久, 山田哲司, 小寺義男

日 時： 平成29年10月23日（月）9:00～18:00

会 場： 横浜市立大学先端医科学研究センター(福浦キャンパス) 5階 P504会議室
〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦3-9

<http://www.yokohama-cu.ac.jp/amedrc/access/index.html>

横浜新都市交通シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩5分

主 催： 臨床質量分析共用プラットフォーム

(横浜市立大学、国立がん研究センター、北里大学)

<http://www.masspf.jp/>

後 援： 日本プロテオーム学会、日本電気泳動学会

サーモフィッシャー, ABサイエックス, 東レリサーチセンター(予定), スクラム, KMデータ,
メディカルプロテオスコープ

定 員： 20名(希望者が多い場合、選者があります。)

対 象： 大学・研究機関・企業の研究者や大学院生等

参加費： 無料

内 容：

講 義(平野 久, 山田哲司, 尾野雅哉, 小寺義男, 木村弥生 他)

試料調製法

質量分析法

データ解析、パスウェイ解析の方法

臨床応用 など

実 習

血液高濃度タンパク質の低減処理、血液非変性ペプチドの濃縮、リン酸化ペプチドの濃縮

質量分析装置実習(Orbitrap MS, Q-ToF 5600, Triple-Q 5500)

データの解析(Progenesis Q1を用いたペプチド定量解析, Keymolnetを用いたパスウェイ解析) など

*当日18:00～懇親会(個別相談会)があります。希望者のみ。

参加申し込み：下記URLより、申込フォームに必要事項を記載してご送信下さい

申し込み締切：10月6日(金) 17:00

<https://goo.gl/9h6tfu>

お問い合わせ先：

事務局 香川裕之(横浜市立大学 先端医科学研究センター)

* お問い合わせには、下記フォームをご利用下さい

<https://goo.gl/nftQyY>

第2回 質量分析基礎講座 プログラム

10月23日（月）		
9:00	オリエンテーション	
10:00	講義：試料調製法 （小寺※、木村(鮎)、田中）	血液タンパク質、非変性ペプチド、組織、培養細胞タンパク質、翻訳後修飾タンパク質の調製について解説します。
11:00	デモ：試料調製の実際 血液高濃度タンパク質の低減処理 血液非変性ペプチドの濃縮 リン酸化ペプチドの濃縮 （井野※、小寺、他）	
12:00	昼食 ランチョンセミナー：DDAとDIA（中居※）	DDAとDIA質量分析について解説します。
13:00	講義：質量分析法（川上※）	各種質量分析装置の特徴について解説します。
14:00	デモ：質量分析の実際 （試料注入からデータ取得まで） （香川※、Thermo、ABSciex）	
15:00		
16:00	講義：データ解析、パスウェイ解析の方法 （スクラム・KMデータ）	Progenesisなどのソフトウェアを用いたデファレンシャルディスプレイ分析やKeyMolnetを用いたパスウェイ解析について解説します。
17:00	デモ：データ解析の実際 （木村(鮎)※・スクラム）	
	講義：臨床応用（木村(弥)※、平野、他）	疾患関連タンパク質の検出やその診断マーカーとしての有用性検証に関する研究事例を紹介します。
	懇親会（個別相談会） （平野※、小寺、他）	実習生の抱える課題について個別に相談に乗ります。依頼分析についても話し合います。

20:00

※ セッション責任者